

## 2021年度 自己評価反省

- ・保護者からの意見として、利用者増に伴い、支援スペースが狭くなっている点・職員の負担に関しての心配などが挙げられた。

長期休暇等には、職員を増員したり、活動スペース確保すべく、活動内容を配慮するなどして、対応してきた。

- ・利用者が増えたことにより、支援内容の質が下がらないよう、日々見直しながら、支援に当たっていく必要がある。

S V派遣の利用、リハビリ施設への見学、またその際に助言をいただきながら、日々の支援内容の改善を行っている。

- ・保護者の言葉から、その時の状況などを踏まえ、今必要としている資源などをアドバイスできるよう、日々情報収集に当たるようにしてきた。

保健師、福祉課、こども園等と連携を図りながら、保護者への対応をしている。

- ・建物内の、スロープの設置、幼児用のトイレや手洗い場の不足等、改修すべき箇所もあげられるが、今ある資源を有効に活用し、工夫しながら支援に当たっている。

- ・昨年度より、コロナの影響で、保護者の集まりに制限をかけざるを得なくなっている。今後は、コロナの状況も踏まえながら、別の形で、開催する必要がある。